

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	肺切除術前の早期運動誘発性酸素飽和度低下と術後呼吸器合併症との関連 ～後ろ向きコホート研究～
当院の研究責任者 (所属)	古川浩二郎（琉球大学大学院医学研究科 胸部心臓血管外科学講座）
他の研究機関および 各機関の研究代表者	共同研究機関はありません。
本研究の目的	本研究の目的は、肺切除術を受けた患者さんにおいて、術前 6 分間歩行試験開始 1 分時点の SpO ₂ 変化量と術後肺合併症との関係を明らかにすることです。この関係が明らかになることで、手術後に肺合併症が起こりやすい患者さんを、手術前の検査結果から早めに把握できる可能性があります。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2029 年 3 月 31 日
調査データ(該当期間)	2017 年 10 月～2026 年 6 月の期間の情報
研究の方法 (利用する情報等)	●対象となる患者さま 琉球大学病院にて腫瘍性肺疾患に対し予定肺切除術を施行し、周術期リハビリテーションを実施した患者さま ●利用する情報 ①基本情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、TNM 分類（stage）、喫煙歴（Pack-years）、ASA-PS、診断名、化学療法実施の有無 ②病歴：慢性呼吸器疾患（COPD、ILD、CPFE、athma）、糖尿病、循環器疾患、整形外科疾患、脳血管疾患、高血圧 ③呼吸機能検査：FVC、FEV1.0、1 秒率、PEFR、DLCO ④身体機能評価：握力、膝伸展筋力、片脚立位時間、5 回椅子立ち上がり時間（SS-5）、4m 快適歩行速度 ⑤6 分間歩行試験：歩行距離、歩行中 SpO₂の推移（1 分毎）、歩行中 SpO₂の推移パターン、運動誘発性低酸素血症の有無（ΔSpO₂ > 4%）、試験開始 1 分時点の SpO₂ ⑥栄養評価：GNRI ⑦術中所見：手術時間、出血量、切除部位、切除範囲、術式（開胸、VATS） ⑧術後経過：歩行開始日、ドレーン抜去日、100m 歩行開始日、術後在院日数、術後合併症の有無 ⑨体組成評価：総筋肉量、四肢筋肉量、体水分率、体脂肪率、SMI（骨格筋指数） ⑩術前画像所見（CT）：大・小胸筋の面積（PMA）、CT 値（PMD） 横隔膜脚筋厚 ⑪術前血液・生化学検査所見：血清アルブミン（Alb）、血清ヘモグロビン

	(Hb)、好中球 (Neutrophil)、リンパ球 (Lymphocyte)、血清クレアチニン (Cr)、推定糸球体濾過量 (eGFR) ⑫身体活動量：歩数、中～高強度活動時間 (MVPA)、座りがちな活動時間
情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	ありません。
情報の二次利用	ありません。
個人情報の取り扱い	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。また、同意の範囲外において情報の利用を行いません。 ◇本学での対応表の管理方法 管理責任者の呉屋太造がリハビリテーション部内のインターネットに接続されていないパソコンで管理します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。 研究資金は全て自己資金で実施します。
お問い合わせ先	電話：098-894-1514 (琉球大学病院 医療技術部 リハビリテーション部門) 担当者：呉屋太造 (ごや たいぞう)
備考	

2026 年 8 月 3 日